

現在、課題を感じていること、必要であると思うこと

①日頃の療養支援

【目指すべき姿】医療・介護関係者の多職種協働によって患者・利用者・家族の日常の療養生活を支援することで、医療・介護の両立を必要とする状態の高齢者が住み慣れた場所で生活できるようにする。

団体・機関名	課題・必要であると思うこと
防府医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の方法について ・入院引き受け：在宅引き受け可能な医療機関を探すのが大変
防府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥性肺炎予防、食事や会話などのQOLの向上の為に定期的な口腔ケア、歯科検診、治療等の歯科の積極的な連携が必要であるが、歯科医師、歯科衛生士不足により対応が難しくなっている。
防府薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・防府の皆様非常に優しく、患者様からの要望に無償で対応される事も多々あるかと思います。患家での薬の管理について、他職種に人的負荷・時間的負荷がかかっているのであれば、ぜひ薬剤師に振っていただき、本来の業務に支障が出ないようになれば良いと思います。
山口県訪問看護ステーション協議会(防府支部)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師、一人ひとりの質の向上
山口博愛病院 地域連携室	<ul style="list-style-type: none"> ・院内多職種や在宅支援の専門職と退院前訪問や退院前カンファレンスを行っている。 ・本人や家族の希望により自宅や病院での緩和ケアを行っている。 ・かかりつけ患者の今後の方向性、意向について、本人、家族、医師、外来看護師、在宅支援の専門職と必要に応じてカンファレンスを行い情報共有している。
山口県栄養士会防府地域専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での食事療養について、評価されていないことが多い。体重変動があっても放置されていることが多い。 ・病院・介護施設から栄養報告書が提供されても活かされていないことが多い。
防府西地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・健康保険証からマイナ保険証に移行にあたり、家族不在もしくは近くに家族がいない方への対応に混雑することが予測される。
防府南地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・難病の方の情報が欲しい時に、情報が頂けない時がある。 ・退院後も受診予定があるので、意見書を書かないと言われたことがある。 ・4項目に該当しない方に、デイサービスや介護申請を提案されたと相談に来られる（市の取組について伝えると、立腹される方もおられる）。 ・ご家族が相談に来られるときは、ぎりぎりの段階が多い。認定がスムーズに進めば、引継ぎやサービス導入もスムーズに運び、生活が整うようになる。
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの相談時の適切な対応 (窓口の情報把握、適切な機関や窓口につなぐ等)

②入退院支援

【目指すべき姿】入退院の際に、医療機関、介護事業所等が協働・情報共有を行うことで、一体的にスムーズな医療・介護サービスが提供され、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、希望する場所で臨む日常生活が過ごせるようにする。

団体・機関名	課題・必要であると思うこと
防府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥性肺炎予防、食事や会話などのQOLの向上の為に定期的な口腔ケア、歯科検診、治療等の歯科の積極的な連携が必要であるが、歯科医師、歯科衛生士不足により対応が難しくなっている。
防府薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> 退院時カンファレンスがない、開催されても薬剤師が居ないなど、それぞれの都合で仕方ない場合があると思う。退院時カンファレンスに参加できなくても、連携できるなにかがあると、より良いサービスに繋げられるかと思います。
山口県訪問看護ステーション協議会(防府支部)	<ul style="list-style-type: none"> 病院とスムーズな入退院ができる関係性づくり
山口県立総合医療センター地域連携室	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援等連携指導の実施が少ない。 患者が入院した際、担当の相談員がケアマネに連絡を取ろうと努力しているが、全ての患者からケアマネの情報を聴取することは困難である。ケアマネ側で、患者や家族から当院に入院したという情報を得られたら、相談員まで連絡をいただけるようご協力を願いしたい。また、退院前カンファレンスの積極的な参加をお願いしたい。
山口博愛病院 地域連携室	<ul style="list-style-type: none"> 経済面で対応が必要な方、遠方の家族、認知症の夫婦、身寄りのいない方などの退院調整がスムーズにいかない事例が増えている。それにより退院調整が難航するケースがあります。 介護保険申請の調査・判定までに時間がかかることがある。
山口県作業療法士会	<ul style="list-style-type: none"> 病院退院時に、介護予防への呼びかけや支援がうまくできているのか。
防府西地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 身元保証人不在者の対応
防府南地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 身寄りのない方について、包括が緊急連絡先や保証人になれないかと言われる。 入院の連絡は頂けるが、退院の連絡がもらえない時がある。 退院の情報が直前過ぎて準備ができない時がある。

③緊急時の対応

【目指すべき姿】医療・介護・消防（救急）が円滑に連携することによって、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思が尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする。

団体・機関名	課題・必要であると思うこと
防府医師会	・DNR（心肺蘇生を試みないこと）のインフォームドコンセントについて
防府歯科医師会	・①②と同様に、緊急性の対応も難しい状態です。 その為、画像を利用した対応の指示を行うために、歯科医院と施設職員、看護師とLINE等を利用した連携が必要であると思います。
防府薬剤師会	・特に独居の場合など、薬剤師も関係しうる事があるかと思いますが、在宅の現場の薬剤師は、もしもの時の対応の共有ができていない事が多く、連携不足を強く感じます。
山口博愛病院 地域連携室	・当院かかりつけの患者は、日中・夜間と受け入れている。医師の判断で、院外の病院での対応が必要な場合は、救急病院と連携をとり照会させてもらっています。
防府西地域包括支援センター	・身元保証人不在者の対応
防府南地域包括支援センター	・包括に、家族と同様の付き添いを求められる時がある。

④看取り

【目指すべき姿】地域の住民が、在宅での看取り等について十分に認識・理解をした上で、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、人生の最終段階における望む場所での看取りが行えるよう、医療・看護関係者が、対象者本人と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援する。

団体・機関名	課題・必要であると思うこと
防府医師会	・DNR（心肺蘇生を試みないこと）のインフォームドコンセントについて
防府薬剤師会	・③と同様、特に独居の場合など、薬剤師も関係しうる事があるかと思いますが、在宅の現場の薬剤師は、もしもの時の対応の共有ができていない事が多く、連携不足を強く感じます。
山口県訪問看護ステーション協議会(防府支部)	・「住民教育の充実」での看取り支援
山口博愛病院 地域連携室	・在宅や病院での看取りも行っている。 ・意思決定支援を病院の指針に基づいて行っている。
防府南地域包括支援センター	・自宅退院される方の事前の情報共有の在り方。

⑤4つの場面共通の課題・必要であると思うこと

団体・機関名	課題・必要であると思うこと
防府薬剤師会	・DX化が進み、患者様に係る多職種での情報共有が円滑に進むことを期待しています。
山口県訪問看護ステーション協議会(防府支部)	・訪問看護師、一人ひとりの質の向上